

# メタン発酵技術アドバイザー養成研修 2026

設計・運転・事業化を“実務レベル”で体系習得  
現場課題を解決できる人材へ



一般社団法人日本有機資源協会

# 《募集要項》全国どこでも受講可能！

1. 開催目的：現場で使えるメタン発酵技術を体系的に学ぶ
2. 開催日時：2026年9月29日～30日
3. 研修方式：オンライン(Zoom)
4. 参加費(税込み)

JORA会員 65,500円/名  
一般 77,000円/名  
JORA学生資格者 49,500円/名



5. 参加申込 **〈申込締切：9月15日〉**

メタン発酵技術アドバイザー養成研修 詳細サイト：<https://www.jora.jp/training/>



〈お問合せ〉 人材育成事業 事務局 kensyu@jora.jp ※お問い合わせは左記のメールアドレスにご連絡ください。

# 《受講対象》こんな方におすすめ！

## 《本研修の特徴》

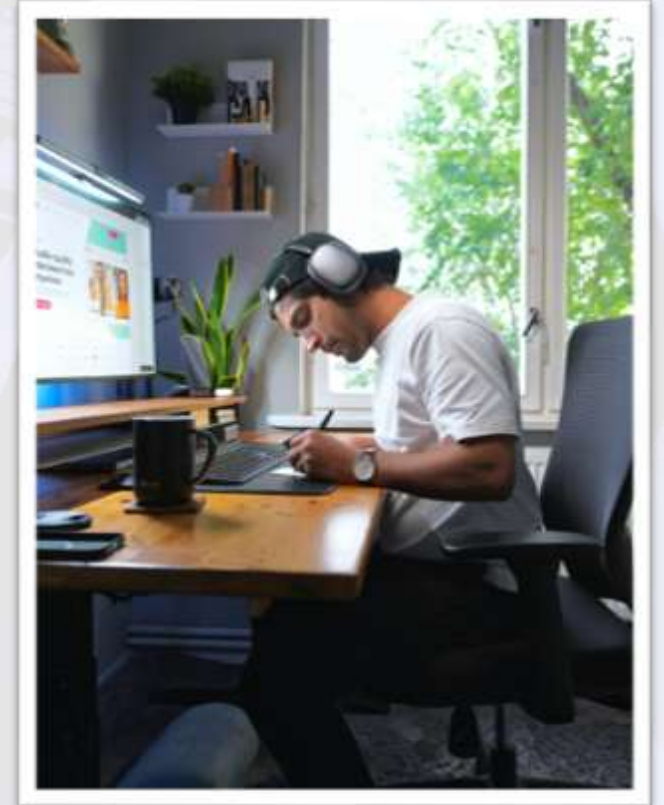
・基礎・専門・実例で実務力を鍛える



- ・メタン発酵施設の設計・運転担当者
- ・バイオガス事業に関わる技術者
- ・自治体・コンサル担当者

## 《研修後に得られること》

技術の体系理解から実務・事業化までを習得し、実務に生きるネットワークを構築



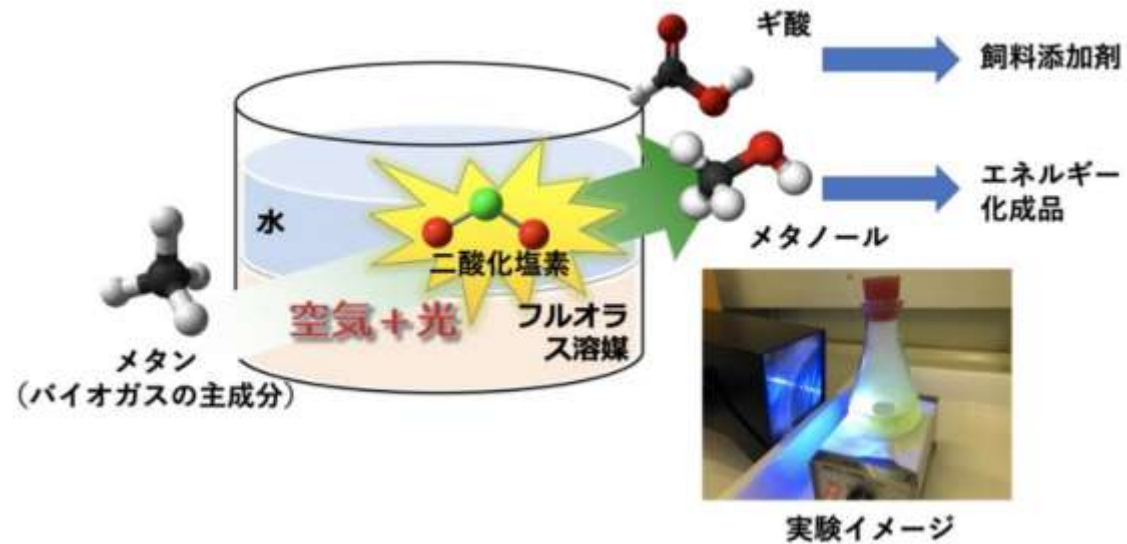
# 《現場を知る！ 専門家による実践講義》

講 義	講 師
メタン発酵の基礎	石井 一英（北海道大学大学院工学研究院 教授）
バイオマス活用に関する施策動向	経済産業省 資源エネルギー庁
メタン発酵関連マニュアル	辻田 崇宏（株式会社みずほ銀行 みずほ総合研究所）
バイオガス事業化のポイント	中新田 直生（株式会社市川環境エンジニアリング 顧問）
メタン発酵バイオガス発電の事例 （乾式メタン発酵）	金城 寿人（株式会社富士グリーン 再生エネルギー部 部長）
メタン発酵バイオガス発電の事例 （自治体の取組み）	福岡県みやま市 環境政策課 脱炭素社会推進係
メタン発酵バイオガス発電の事例 （肉牛ふんとパイプライン方式）	後藤 博信（東北おひさま発電株式会社 代表取締役）
バイオ液肥の有効利用と環境影響	中村 真人（（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 グループ長）

※講師は変更する場合があります。

# 《研修で学ぶ実践例》

## バイオガスの利用 (※昨年度の講義資料の一部抜粋)



バイオガスからメタノール・ギ酸を生成する  
研究開発 興部町・大阪大学

地域資源循環モデルの先進事例



興部北興バイオガスプラント (北海道興部町)

# 《受講者の声》



基礎から応用まで体系的に学ぶことができ、内容が非常に充実していた。

基礎から現場の実務や今後の課題まで幅広く網羅されており、大変参考になった。

プラント運営や自治体の取組など、実務に直結する内容が理解できた。

実用例や事例が豊富で、実務への応用イメージを具体的に持つことができた。

多様な専門家から直接講義を受けることができ、理解が深まった。

交流やディスカッションを通じて、他の受講者との意見交換ができ有意義だった。